

分野	人家等に対する地すべり対策・急傾斜地崩壊対策			事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等				
市町村名	南牧村		ふりがな 箇所名	ゆざわ 湯沢		事業年度 (完了年度は見込み)	H24	年度～	H27	年度	
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		重力式擁壁工 L=100m			H23年度末事業進捗率		0%			
	H24年度以降実施内容		同上			本工事費等ベース		0%			
	H24年度実施内容		測量・調査・設計 1式			用地補償費ベース		0%			
	年度		全体事業費		H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降			
	事業費計(千円)		80,000		0	0	15,000	80,000			
財源内訳	国庫支出金		36,000		0	0	6,750	36,000			
	その他		8,000		0	0	1,500	8,000			
	県債		32,000		0	0	6,000	32,000			
	一般財源		4,000		0	0	750	4,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点		
	必要性 (30)	保全対象人家戸数		10戸以上		5～9戸		4戸以下		B	3
		保全対象公共施設数		2箇所以上		1箇所		なし			8
		保全対象に援護者関連施設があるか		重要施設あり		一般施設あり		なし			6
		保全対象に避難所・避難経路があるか		あり		なし					2
		小計									19
	重要性 (15)	過去の災害履歴		過去10年に1回以上		災害履歴地		なし		A	10
		交通遮断による地域経済などへの影響		大		中		小			2
		防災計画上の位置づけ		位置づけあり		位置づけなし					2
	小計								14		
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)		B/C3.0以上		B/C1.0以上3.0未満		B/C1.0未満		A	9
		早期発現度		5年未満		5年～10年未満		10年以上			6
		小計									15
	緊急性 (25)	斜面の高さ		30m以上		10m以上30m未満		5m以上10m未満		B	4
		斜面平均勾配		45°以上		40°以上45°未満		30°以上40°未満			3
		地質状況		崩積土、火山砕屑物、強風化岩		段丘堆積物		軟岩・その他			4
		斜面形状(オーバ・ハング、遷急線、谷地形、凸地形)		あり		なし					0
		植生の状況		不良		普通		良好			2
		保全対象の位置		がけ下にある		がけ上にある					5
		小計									18
	計画 熟度 (15)	地元の協力		用地等の協力が得られる		用地等の協力が概ね得られる		協力が現時点では得られていない		A	8
		地域からの要望		高い		それほど高くない					7
		小計									15
	費用対効果(B/C)		3.4		評価の合計			A		81	
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		高さ25mのがけ下に4件の保全対象があり、災害時要援護者関連施設「障害者等憩の家」がある。後者は地域防災計画上の避難場所としても位置づけられている。平成22年7月の豪雨時に斜面崩落が発生し、土砂が押し出した。地元から対策の強い要望が上がっている。							
地域からの要望経緯		平成22年7月、地元から役場へがけ対策の要望がなされる。平成22年7月南牧村役場より県へ要望書が提出される。									
事業説明等の経緯		平成22年7月地元から役場へがけ対策の要望がなされ、県が現地調査を実施する。平成23年度に土砂災害防止法の指定にかかわる調査を実施する。									
環境・景観への配慮項目		法枠工法の併用により、既存の健全な立木を残すとともに在来種を中心とした緑化を図り、環境及び景観に配慮する予定。									
他事業・プロジェクトとの関連		特になし。									
特記事項		地元は対策に対しての関心が高いため、避難体制の整備および施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。(H24.3土砂災害防止法指定)									
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他	
部意見		保全対象に人家4戸、災害時要援護者施設がある。H22は斜面崩壊も発生しており、早期に対策を行う必要がある。			政策評価課 見		重要性が認められる。				